

小学生におすすめ！この一冊 ①

読書コンシェルジュがおすすめする、^{わす}忘れられない^{だいす}大好きな本、^{たからもの}思い出がつまった宝物の本です。



このお話は、「なまえのないねこ」の視点で進みます。
本をとおして、^{かぞく}家族や友人など、自分の^{みちか}身近にいる人の^{かん}ありがたさを感じることができます。
絵がキレイでとても読みやすいですよ。

『なまえのないねこ』
(竹下文子／文、町田尚子／絵 小峰書店)



わたしの^す好きな本をしようかします！
人間の女の子と、「おさいほう^{まじよ}魔女」のものがたり。
おさいほうのアドバイスも多く、わたしはこの本で、ものづ^すくりがより好きになりました。
かわいらしいキャラクターたちがつむぐ、^{あたた}すてきな心温まる
ストーリーの数々もおすすめです。



『なんでも魔女商会』
(あんびるやすこ／作・絵 岩崎書店)



^{ちゅうけん}「忠犬ハチ公」とよばれる秋田犬とその^{あきたいぬ}飼い主の、世界中で知られるものがたりです。わたしも小学生のころにはじめて^{なんど}読んで、何度も読みかえました。
人と犬、^{あいて}ことばは通じないけれど、相手を大切に思う強い^{かん}気もちによって生まれる「きずな」を感じられる本です。

『ハチ公物語 -待ち続けた犬-』
(岩貞るみこ／作 講談社) 青い鳥文庫



なぞときが好きな人にオススメです。夢羽（むう）ちゃん^すのミステリアスさや、頭の^{かいてん}回転のはやさ^{はば}に引きつけられると思います。
さらに、ミステリーの幅が、学校でのちょっとしたことから、^{えとじだい}江戸時代まで！？で、あきずに読めるし、トリックも分かりやすいです。



『IQ探偵ムー』
(深沢美潮／作 ポプラ社)



小学生におすすめ！この一冊 ②

読書コンシェルジュがおすすめする、^{わす}忘れられない大好きな本、^{たからもの}思い出が詰まった宝物の本です。

『パセリ伝説』
(倉橋燿子／作 講談社)
青い鳥文庫



全12巻と長いですが、一巻一巻の流れがおもしろくて、早く次が読みたくなります！主人公のパセリだけでなく、すべてのキャラクターにスポットが当たるので、それぞれの気持ち分かるし、考えさせられます。わたしは、主人公のパセリと妹のミモザを通して、自分や人が持つ暗い感情について考えさせられました。



『トム・ソーヤーの冒険』上・下
(マーク・トゥエイン／作、石井桃子／訳 岩波書店)
岩波少年文庫

楽しく笑いながら科学にふれられる、オススメの人気シリーズ。理科が苦手なわたしでも、楽しく読めました！柳田（やなぎた）さんが話しているような、やさしい文章で読みやすいです。自分が知っているアニメ・マンガのところから読むもよし！この本で、ぜひ読書にも科学にもきょうみを持ってほしいです！

いたずらばかりするヤンチャな少年トムと、そのゆかいな仲間たちが、町中を元気いっぱいかけ回るすがたや、ぼうけんに出かけた先でトムたちが目にする光景などが、読むだけでリアルにイメージできます。ぜひこの話を読んで、あなたもトムとその仲間とともに、勇気と感動のぼうけんをしてみてください。



『ジュニア空想科学読本』
(柳田理科雄／著、藤嶋マル／絵
KADOKAWA) 角川つばさ文庫

まいごのネコ・ルドルフと、日本語の読み書きができるイッパイアッテナ。2ひきの日常は、小学生だった私をスリリングなぼうけんの世界へ連れていってくれました。楽しくワクワクするようなじけんがたくさん起こります。私はこの本で、シリーズものを楽しめるようになりました。「シリーズものなんて長いよ…」と思っている人に、ぜひ読んでほしいです！！



『ハリー・ポッターと賢者の石』
(J.K.ローリング／作、松岡佑子／訳 静山社)

『ルドルフとイッパイアッテナ』
(齊藤洋／作 講談社)



主人公のハリー・ポッターは最初11さい、日本だと小学5年生なので、小学生がたくさん共感しながら楽しめます！私は小学生のころから（もちろん今でも）「ハリポタ」が大好きで、友達によくすすめていました。読んだ友達も100%「ハリポタ」のとりこになり、いつも「ハリポタ」の話でもり上がっていました。「ハリポタ」愛や思い出は語り切れません！まずは一冊、試しに読んでみてください！気づけば必ず、あなたもまほうにかけられてしまいますよ♪